

京都市社会教育委員のコラム



# まなびのつぼ

第1回



茂山 千三郎 委員  
プロフィール

昭和55年から「花形狂言会」に加わり、平成12年から古典狂言の勉強会「TOPPA!」を主宰。その他、ラジオのパーソナリティやテレビのキャスター、ミュージカルやオペラの演出・出演など幅広く活動。  
全国の小中学校を訪問し、ワークショップを通じて狂言の魅力を伝える活動も展開中。第28～30期京都市社会教育委員。

## 学びの連鎖

能楽の囃子(はやし)(音楽)に「ノリ」という表現を使う。乱暴な言い方をすると音楽のテンポのことだが、現代においても「あの曲はノリがええなあ!」などと使われている。

西洋音楽では「レガート…滑らかに」「カンタービレ…歌うように、表情豊かに」と発想記号が楽譜に書かれていて、歌い手はそれを読み取り、意識して歌う。では能楽はどうか? 能の謡本(うたいまん)にはその指示は書き込まれていないのだ。稽古の時に師匠が本気で謡って見せるのを、弟子は見習い盗み真似て習得するのだ。

だが、演奏者と謡手の意識を共有するためには言葉で伝える必要が出てくる。「もう少し乗り良く」「しっかりと」「少ししめて…」「そこはサラリと…。この辺りまでは何となく伝わるようだが、「カラッとして!」「こっくりと…。まるで料理のようになってくる。「こっ

京都市社会教育委員

茂山 千三郎 (狂言師)

くり謡う」とは? 初めて指示された時はどう謡うべきなのか理解出来なかった。答えは「落ち着いた深みのある謡(うたい)」。つまり料理と同じである。謡も料理と同じに考えれば良いのだ。

こう理解した時は「目からウロコが落ちた」。ふむ? よく使うが目からウロコって? 次なる疑問がうまれてきた。なんとなく仏教用語から来ているのだろうと想像していたが、調べてみると、新約聖書・使徒言行録9章18節「たちまち目からウロコのようなものが落ち、サウロは元どおり見えるようになった。」もやもやしていたものが突然パツ!と見える。なんと聖書から来ていたのだ。

子どもが「どうして?」「なんで?」「なに?」と聞き続ける好奇心の連鎖。年を重ねても忘れたくない好奇心、これこそ学ぶことの面白さであろう。

そう…「初心忘るべからず」

委員からのメッセージ

浅きに深きことあり。心して見聞けば面白きことのみなり。 [わらんべ草]より 茂山千三郎

※「わらんべ草」…江戸時代初期の狂言師 大藏虎明が、狂言に関する作法や演技の心得、能楽一般の故事などを書き記したもの。

ご存知ですか?

## 京都市社会教育委員会とは…



京都市の社会教育・生涯学習の諸計画の立案をはじめ、家庭・地域の教育力の向上や文化・伝統・芸術などの豊かな学習資源の活用など生涯学習全般に関して、幅広く審議し、教育委員会に助言する会議で、現在、学校教育及び社会教育の関係者、学識経験者など15名の委員で構成されています。

つまりは、京都のあらゆる学びを活性化させよう!という思いで多様な分野の先生方が議論する会議です。傍聴も受け付けています。

京まなびネットなどに会議の摘録などを掲載していますのでご覧ください! 会議の盛り上がりを感じいただけます。



### 「京まなびミーティング」も実施中!

また、社会教育委員が学校などに出張して、講演会や特別授業などを実施し、直接メッセージを発信する「京まなびミーティング」事業をおこなっています。

6月には、小学校の教員を対象に、茂山千三郎委員による狂言についての講演・ワークショップを開催します。開催後は、レポートや動画を京まなびネットに掲載しますので、ぜひご覧ください。

## おすすめ情報

博物館ハンドブック  
京発見!  
ミュージアムへ行こう

好評発売中

京都市内博物館施設連絡協議会は、加盟館が200を超える大規模な博物館ネットワークです。加盟施設の紹介と所在地を記載した小型(B6サイズ)のハンドブックを発売中です!

ポストカードなどのプレゼントや入館料割引など、うれしい特典も!

定価:500円(税込)

紀伊国屋書店・ジュンク堂・ブックファースト・大垣書店などで販売中。「京都新聞出版センター」のホームページからも購入できます。



## 編集後記

「京まなびニュースレター」第1号はいかがでしたか? 皆さんお忙しい毎日を送られる中で、気軽に「ちょっと学んでみようかな」と思っていたような内容を発信していきますので、今後ともよろしく願います!

発行:京都市教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進担当

TEL:075-251-0410 FAX:075-213-4650

平成24年6月発行